

「農の雇用事業（教育研修費助成・指導者研修費助成）関係書籍」

平成30年6月
(一社)全国農業会議所出版部

農の雇用事業では、研修生の各種資格取得に向けた図書の購入費のほか、指導者や経営者が人材育成・労務管理等の向上に必要な図書の購入費も助成対象となっています。

指導者や経営者には、人材育成や労務管理だけでなく簿記・青色申告、税制、マーケティング等に関する図書にも目を通して資質向上に努め、指導にあたることを求められます。研修生は、法人等でのOJT研修のほか、座学研修、自己研さんを通じて獲得した知識と技術を「日本農業技術検定」等の検定試験を通じて確認することが必須となっており、過去問題集を活用した受検対策が有効です。

I. 指導者研修費の助成対象となる図書（指導者・経営者向け）

1. 人材育成・労務管理関係

1) 改訂4版 農業の従業員採用・育成マニュアル（28-06、4,000円）

「モデル就業規則」等 CD-ROM 付き

農業の従業員の採用や育成に関する実務的なマニュアル書。第4版の刊行にあたり、マイナンバーの利用や安全管理に対応し、外国人技能実習生の労務管理の留意点や6次産業化への対応などの記述も充実。申告書、変更届、関連資料等も最新のものとなりました。正社員のほか、パートタイマー、研修生、外国人技能実習生、出向等など、雇用に関するすべての事項について網羅していますので、広くご活用ください。著者は、特定社会保険労務士の来院重宏氏。



2) 改訂4版 農業の労務管理と労働・社会保険百問百答

(29-25、1,500円)

労務管理に関する諸制度について、農業の特性に留意しつつ、農林漁業分野で活躍する社会保険労務士がQ&A形式で解説したものです。農業法人をはじめとして雇用者のいる経営者の方々に、労務管理と労働・社会保険の手引書として活用いただきたい一冊です。



2. 簿記・青色申告、税制関係

(※ 研修実施計画の内容と関連している場合に限り助成対象となりますので、ご留意下さい)

1) 「わかる」から「できる」へ 複式農業簿記実践テキスト

(29-11、1,650円)

簿記の学習のヤマ場といわれる「仕訳」について、多くの例を掲載。多くの簿記相談に裏打ちされた仕訳例は、農業者の記帳実務の即戦力となります。簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書として、初心者、実務経験者の心強い味方になるものです。



2) 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳 (27-23、410 円)

都道府県農業会議の簿記指導のノウハウを集約し、複式農業簿記実践テキストの姉妹書として作成しました。手を動かして演習をすることで、テキストによる学習の効果が格段に高まります。

問題と解答を本冊に収録し、記述できる解答用紙は別冊とし、切り離して利用できるようになっています。テキストの参照ページも掲載していますので、テキストとセットでの活用をお薦めします。



3) はじめてのパソコン農業簿記 改訂7版

ソリマチ (株)「農業簿記 10」 体験版 CD-ROM 付 (28-43、2,880 円)

ソリマチ (株) の農業簿記ソフト「農業簿記 10」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めた人に最適の入門書です。



4) 平成 29 年度版 よくわかる農家の青色申告 (29-17、800 円)

青色申告制度について、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを、記入例を交えて分かりやすく解説しました。平成 28 年度版については、最新の各種様式による記入例を提示、あわせて「農業者の平成 29 年分所得税等の改正のあらまし」を掲載しています。



5) 平成 29 年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制 (29-12、1,100 円)

所得税・法人税、相続税・贈与税、消費税 (※軽減税率制度の概要も参考掲載) から国民健康保険税まで、農業者に関係の深い19の税金について、経営発展を後押しする各種の税の特例措置など最新情報を網羅し、わかりやすく解説しています。後半の農地税制の質問・回答編では、照会の多い質問に答えています。



6) 平成 29 年版 青色申告から経営改善につなぐ

勘定科目別農業簿記マニュアル (29-24、2,100 円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理しており、「わからないとき」や「困ったとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書として、研修会のテキストとして適しています。また、最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載しています。執筆者は税理士の森剛一氏。



3. マーケティング

(※ 研修実施計画の内容と関連している場合に限り助成対象となりますので、ご留意下さい。)

1) 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20、822 円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た事例を紹介し、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



2) 多視点型農業マーケティング -6次産業化へのヒント 77-

平岡 豊 著 (26-30、933 円)

農業マーケティングの先駆者である平岡豊氏が「実践型農業マーケティング」の続編として著した最新刊です。

日本農業はこれまで「単視点的」発想での施策が多かったのではないかと問いかけ、新たな視点で現状を見直し、打開策を見い出すよう意識改革を促します。全国農業新聞への連載「マーケティング・アイ」から選りすぐりのコラム 77 件を掲載。



II. 教育研修費の助成対象となる図書 (研修生向け)

日本農業技術検定関係

日本農業技術検定過去問題集

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができる検定試験として、学生から社会人まで幅広く活用されており、農の雇用事業では研修期間中に研修生が日本農業技術検定を受験することが必須となっています。以下の過去問題集には、各年度に実際に出題された問題と現役教師や専門家による解説を掲載しています。検定試験の概要や、申し込み方法、勉強の仕方なども盛り込んでいます。

- ①2018年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級
2015・2016・2017年度出題分 (30-01、1,080 円)



- ②2018年版 日本農業技術検定 過去問題集 2級
2017年度出題分 (30-02、1,080 円)

- ③2017年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級
2014・2015・2016年度出題分 (29-01、1,080 円)



- ④2017年版 日本農業技術検定 過去問題集 2級
2016年度出題分 (29-02、1,080 円)

⑤2016年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級
2013・2014・2015年度出題分 (28-01、1,080円)



⑥2016年版 日本農業技術検定 過去問題集 2級
2015年度出題分 (28-02、1,080円)

Ⅲ. 指導者養成研修会の研修テキストとして活用できる図書（農業会議向け） 「農業の雇用」シリーズ

本シリーズは農業法人等の経営者・指導者を対象とした研修向けの教材であり、従業員の採用から労務管理、保険加入、就業規則、給与計算、人事評価まで、テーマごとの分冊で分かりやすくまとめたものです。農業会議が実施する指導者養成研修会の研修テキストとしてご活用ください。

(①②③は平成30年度改訂、④は平成29年度に改訂しています。)

- ①「農業の雇用」シリーズ1 初めての従業員採用 (30-05、308円)
- ②「農業の雇用」シリーズ2 初めての労務管理 (30-06、360円)
- ③「農業の雇用」シリーズ3 初めての労働保険・社会保険 (30-07、411円)
- ④「農業の雇用」シリーズ4 初めての就業規則 (29-36、822円)
- ⑤「農業の雇用」シリーズ5 初めての給与計算 (25-17、565円)
- ⑥「農業の雇用」シリーズ6 初めての人事評価制度 (25-18、308円)

